

新型コロナウイルス感染症に関する部長会議 会議録（要旨）

- 日 時 令和2年1月30日（木）午後2時30分～午後3時00分
- 会 場 市役所 応接会議室
- 出席者 市長、副市長、教育長、千曲坂城消防本部消防長、総務部長、企画政策部長、市民環境部長、健康推進課長（健康福祉部長代理）、次世代支援部長、経済部長、建設部長、議会事務局長、教育部長、総務課長、総合政策課長、財政課長、秘書広報課長、教育総務課長、秘書係長、健康推進課予防保健係長

1. 開 会

2. 市長訓示

- 新型コロナウイルスについて、本日のお昼の報道によると、中国では7,721名が感染しており、亡くなられた方が170名を超えている。全世界で深刻な状況になっている。
- 戸倉上山田温泉において、既に中国からのお客様がキャンセルされている。中国だけでなく、全世界に拡大傾向にあるので、市を挙げて準備を怠ることなく進めていかなければいけない。
- 本日、緊急に集まってもらったが、真剣な議論の中で、我々の対応策をしっかりと考えていきたい。

3. 会議事項

（1）新型コロナウイルス感染症に係るこれまでの経緯と対応【健康福祉部】

◆説 明

（資料1のとおり）

（2）予防の徹底と発生時の対応確認【健康福祉部・総務部】

◆説 明

（資料1、2、3のとおり）

- 発生時には、千曲市新型インフルエンザ等対策本部規程を準用して対応したい。
- ただし規程には具体的な行動について記載がないため、事務分掌に各部課の具体的業務を追記したい。各部課において打合せをし、具体的業務内容を報告願いたい。その結果を反映させ、実行に移していきたい。これが行動指針になる。庶務担当は健康推進課になるので、報告も健康推進課へお願いしたい。

（3）関係機関との連携【健康福祉部・経済部】

◆説 明

（資料1、4のとおり）

- 市内の旅館ホテルあてに【資料4】を発出している。「観光客の皆様へ」というチラシは、日本語のほか、中国語（2種類）と英語で作成し、注意喚起を依頼済である。また、同様の内容で千曲商工会議所と戸倉上山田商工会へも発出し、会員（市内企業）への注意喚起を依頼した。

(4) その他【健康福祉部・消防本部】

◆説明

(資料1のとおり)

【千曲坂城消防本部消防長から】

- 新型コロナウイルスに関連した肺炎患者の対応については、1月16日(木)に消防庁救急推進室から、消防機関における消防車等に対する具体的な手順について通知があった。
- 救急業務の実施にあたっては、保健所との連絡体制を確保したうえで、消防車に対する対処について万全を期すように指示を受けている。その内容としては、全ての消防車に対して標準的な予防策を徹底することや、搬送先の医療機関とは連絡を密に行い、必要な情報を共有していくこと、また、傷病者を搬送後、傷病者が新型コロナウイルスに感染したと判明した場合には、保健所からの助言を得ながら、救急隊員の健康管理や救急車の消毒等を徹底する。
- 消防本部としても、1月28日に内閣が指定感染症の指定を閣議決定したことから、全国的な動向を注視するとともに、市町や関係機関と密接な連絡を取りながら適切な対応に努めていきたい。消防本部の救急隊員に対しては、1月23日付で必要な対策と具体的な手順について周知を図った。
- 当消防本部における12月と1月の救急件数のうち、発熱を伴うインフルエンザ等の呼吸器疾患と思われる患者数は13名であった。その中に外国籍の方はいなかった。また武漢への渡航歴に加え、新型コロナウイルス患者や感染に疑いがある方との接触歴についても聴取を行い搬送した。
- 全救急隊員は感染防止着、マスク、手袋、ゴーグルを着用し、活動を行っている。帰署後においては、必要な消毒を行い、患者の処置における感染物質については、必要な処置を施して対応している。
- 消防本部の感染防止用資機材は、2003年のSARS発生時の対応マニュアルを参考にし、備蓄している。
- 人から人への感染が確認されている感染症であることを十分踏まえ、今まで以上の緊張感を持って救急対応していく。

◆主な意見・質疑等

* (1)～(4)について一括

- 戸倉上山田温泉のキャンセル状況を教えてほしい。

【回答】宿泊予定だった中学生のキャンセルが88人、イベント参加予定者のキャンセルが25人となっている。いずれも中国政府の渡航禁止措置によるもの。

- 教育委員会と学校の対応状況はどうなっているか。

【回答】県と市健康推進課から、それぞれ情報を頂きながら対応している。学校においては、生徒・児童の欠席と健康の状況把握に努めるとともに、保健福祉事務所と連携を図っている。また、個人情報に注意し、いじめに繋がらないよう対策を講じる。教育委員会においては、学校や関係機関と連携し、役割分担がされているので、それに沿って進めていく。

- 子どもを通じて保護者に注意喚起をする必要はないのか。

【回答】小学校、中学校ともに、学校を通じてメールにより、インフルエンザと同じ対応をする

よう周知している。

○次世代支援部において保育園へはどのように対応しているのか。

【回答】 県からの通知を園長や放課後児童クラブ、児童館へ配布している。うがいや手洗いを徹底し、予防に努めている。

○当市の備蓄品の状況はどうなっているか。

【回答】 備蓄品については、N95 マスクが約 100 枚、防護服が 125 セット、アルコール消毒剤が 30 本、塩化ベンザルコニウム（消毒用逆性石鹼液）の原液 500ml が 20 本、18ℓが 1 つ、通常
のマスク 2,000 枚を備蓄している。

○マスク 2,000 枚は来庁者用か。

【回答】 限定はしていないので、必要に応じて使ってほしい。

○市役所庁舎以外の公民館や図書館等の出先機関の対応はどうなっているか。

【回答】 注意喚起はしている。

○出先機関へ消毒液等を配布してほしい。

【回答】 担当部署で設置の有無を確認し、必要個数を報告してほしい。

○イベント等の中止の判断はどうしたらよいか。

【回答】 現段階では、県内で発生していないので、しばらくは様子を見る。状況の把握をしながら適切な時期に判断する。市民の健康を守ることを第一に各部局で動いてほしい。

◆協議結果

○対策本部規程における各部課の具体的業務についての打合せ・報告は至急行う。

○具体的業務がまとまった時点、または緊急の必要性があった場合に、再度会議を開催し、対応を協議する。

○それぞれの担当において、準備は万端にしておく。

6. 閉 会